

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	中小企業論（Small Business Management）						
担当教員名	藤野 洋						（◎は科目責任者）
<p>〔 授業の概要 〕</p> <p>日本では中小企業が企業数の99%超、従業員数の75%超を占めており、「活力ある多数」として経済の土台を支える重要な役割を担っています。しかし、1990年代半ば以降、開業率が廃業率を下回る状態が続いていることに象徴されるように、中小企業は様々な課題への対応を迫られているため、その活力を十分に発揮しにくい状態にあります。本講義では、第1クールで中小企業の特徴を大企業との比較などによって総論的に論じ、第2クールで中小企業が直面している様々な課題を概観し、さらに、第3クールで諸課題に対処するための政策や制度についても解説します。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門を修得する科目として位置づけられます。</p> <p>経済学、経営学、会社法学の基礎的な理論に企業・支援機関の多くの事例の解説を交えることによって、幅広い視点から「中小企業」に対する理解を深めることを目的とします。皆さんが社会人（会社員、公務員、経営者、士業等）になった時に中小企業と関係・取引を全く持たないことは考えにくいので、円滑な仕事・取引のために知っておいてほしい中小企業の特徴を解説します。具体的には、①（地域）経済の土台となっている多数の多様なプレーヤーとしてのダイナミズム、②中小企業経営者の「独特の経営感覚」と事業を通じた「社会への貢献」に対する信念、③「優れた経営者」の会社では、従業員も若いうちから自分の仕事に誇りを持っていきいきと働いていること、④地域経済の担い手である中小企業の課題とその解決のための支援策の重要性、等について、理解を深めていただきたいと思います。</p> <p>（全学年を通しての関連科目）アントレプレナーシップ、イノベーション・マネジメント論</p> <p>〔 到達目標 〕</p> <p>(1) 日本における中小企業の歴史的発展と現在の中小企業の位置づけを説明できる。中小企業の全体像を説明できる。</p> <p>(2) 中小企業を支援する政策の概要と企業活動における資金の働きを理解することにより、実社会における中小企業のキャッシュフローを捉え、説明できる。</p> <p>(3) 中小企業で働く人のキャリアパスとモチベーションを理解することにより、自己の将来の目的やキャリアアッププランの具体化に寄与できる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 （事前学修・事後学修）			担当者		
1	【第1クール（総論）】 中小企業の定義・重要性、周辺概念 （ベンチャービジネス（VB）、ニッチトップ企業等について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
2	中小企業と大企業との格差 （生産性、雇用・賃金、財務・収支構造他について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
3	中小企業の景気情勢、製造業・非製造業の特徴 （中小企業が置かれている経済情勢、業種別の特徴について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
4	第1クール（1～3回）の総括	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
5	【第2クール（各論①：様々な課題）】 産業集積とサプライチェーン （経済活動の中での中小企業の役割と課題について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
6	起業活動とイノベーション （「活力ある多数」としての中小企業の起業の活発化は、イノベーションの実現に寄与することについて解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
7	国際化 （海外への進出、海外からの撤退、海外需要の国内への取り込み等、について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
8	ICT（情報通信技術）への対応 （生産性向上のための手段としてICTの活用が中小企業にも求められています。この点とシェアリング・エコノミー等の活用についても解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
9	中小企業が依存する間接金融 （金融機関貸出による資金調達について、FinTechの影響も交えて解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
10	VBへの直接金融 （主に、ベンチャーキャピタル（VC）投資について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
11	人材の活用と事業承継 （中小企業内部の人材の活用と高齢化で問題になっている事業承継について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
12	第2クール（5～11回）の総括	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		
13	【第3クール（各論②：制度論）】 中小企業政策 （中小企業の健全な発展を支援するための主要な政策について解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み			藤野		

14	中小企業（閉鎖会社）のガバナンスとCSR（企業の社会的責任）・SDGs（持続可能な開発目標） （中小企業にもコーポレートガバナンス、CSR・SDGsへの対応が必要になりつつあることについて解説します）	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み	藤野
15	全体の総括	事前学修（90分）：配布資料の予習 事後学修（90分）：配布資料の復習及び課題への取り組み	藤野
成績評価の方法と基準	学修意欲の把握を行うものとして（コメント票）（30%）、課題・レポート・テスト（70%）、により総合的に評価します。		
履修上の留意点	日頃から、日本経済新聞などで、産業・経済に関するニュースをチェックして、その理解に努めてください。可能な限り最新の 이슈を授業に取り入れるため、授業の内容や予定などが変更する場合があります。AAAでの連絡や各回の授業の指示をよく確認してください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの（1）、（3）と関連しています。特に、（1）知識・理解は、大学の学修を深めていくための土台として重要であり、本科目の中で最も大きな比重を占める内容です。		
教科書	教科書は使いません。		
参考書・参考資料	必要に応じて指示します。		
学生との連絡方法	※ 教員への連絡はAAAを使用してください。また、必ず、学籍番号・氏名を記載してください。学籍番号や氏名の記載がない場合、返信ができない場合があります。 ※ AAAを使用できない場合には、藤野（fujino@bunri-c.ac.jp）にメールで連絡してください。 メールの際には、必ず科目名、自分の学籍番号、氏名をはっきり書いてください。 ※ メールなどができない場合は、大学の学生課などに、担当教員と連絡を取る方法を相談してください。		
実務経験科目			